

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 1 枚目

実施年月日	第 31 期 第 1 回 運営審議会		令和元年 8 月 2 日実施
会 場	中央公民館 401 講座室	傍聴人	0 人
出 席 者	委 員		阿部雄生、井上経久、笠原直美、後藤ルリ子、 田代正孝、藤瀬竜子、祝健一郎、山田久美子、 渡辺和美
	事 務 局	中央公民館	浅間直美、竹田由里子、土沼裕子、友坂直宏、
		鳥屋野地区公民館	小栗 敦
		東地区公民館	片桐康正
	関屋地区公民館	樋山光仁	
議 題 等	<p>議題・報告</p> <p>(1) 議長及び副議長の選出について</p> <p>(2) 公民館の現状について</p> <p>(3) 令和元年度公民館予算について</p> <p>(4) 新潟市公民館事業について</p> <p>ア、事業の基本方針</p> <p>イ、平成 30 年度事業報告及び令和元年度事業計画</p> <p>(5) その他</p>		
審議された議題及び報告について以下に記載する。			
浅間中央公民館長あいさつ、委員・職員自己紹介			
(1) 議長及び副議長の選出について			
事務局	(事務局一任という声あり) 事務局案の議長には藤瀬委員、副議長には山田委員にお願いしたいと思います。(異議なしの声あり)		
(2) 公民館の現状について			
(3) 令和元年度公民館予算について			
中央 浅間館長 土沼管理担当	資料 1 により公民館の現状について説明。 資料 2 により令和元年度公民館の主な予算について説明。		
藤瀬議長	ありがとうございます。公民館の利用状況および公民館の予算についてということでご説明をいただきました。今のご説明について、いかがでしょうか。ご質問、あるいは少し聞き漏らしたけれどもというようなことでもけっこうでございますので、どうぞご発言をいただければと思います。後藤委員、お願いします。		
後藤委員	1 ページの歳入の公民館使用料のところ、先ほど平成 24 年度まで使用料は無料だったというお話がありましたけれども、やはりこれは市の財政からくる		

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 2 枚目

<p>中央 土沼管理担当</p>	<p>対策だったのでしょうか。</p> <p>私は当時在籍していなかったのですが、詳しいことは承知していませんが、公共施設の利用に対する受益者負担という論議が当時出ていたようで、公民館についても、利用される方から相当分のお金を頂戴するべきではないかということだったようです。ただ、社会教育施設という事で、多くの方にご利用頂きたいということがありますので、他の公共施設と比較すると、低廉な料金設定で提供させていただいている状況です。</p> <p>また、市町村合併の際に、自治体によって公民館の利用について有料・無料の違いや、料金設定の違いもあったので、足並みを揃える意味があったようです。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>ありがとうございました。受益者負担とか、合併による市町村でしょうか。取っているところと取っていないところがあったということ。</p>
<p>山田委員</p>	<p>当時は制度統一という説明をしていたと思います。それぞれ、制度が合併市町村で異なっておりましたので、有料化だけではなく、制度を統一するのだということを進めていったと思います。</p> <p>開館時間、閉館時間、休館日なども含めての統一であったかと記憶しております。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>ありがとうございます。私も学ばせていただきました。ほかにご質問、ご意見等いかがですか。よろしいでしょうか。井上委員、お願いいたします。</p>
<p>井上委員</p>	<p>利用状況の稼働率について、質問というか聞きたいと思いました。全市では30パーセント程度の稼働率と書いてありました。中央区は高い稼働率だと思いましたけれども、これは地域によってばらつきがあるものなののでしょうか。また、例えば理想とする稼働率などがあればどれくらいなのだろうかと思いついて。単純に知りたいと思いついて。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>地域による稼働率の差、あるいは理想とするといいますか、目標とするというのでしょうか、稼働率はどの辺に定めていらっしゃるのかというあたりのご質問でよろしいでしょうか。事務局、いかがでしょうか。</p>
<p>中央 土沼管理担当</p>	<p>理想とする稼働率は難しいのですが、区や館の規模により稼働率にばらつきはあるかと思います。施設が比較的新しく、設備が整っているところには、そ</p>

阿部委員	<p>たらしいのかということですか、それから逆にたくさん集まっていて協力をしながらやっているとか、地域の方との連携をどうするかとかいくつか課題を聞くことができました。</p> <p>これは私の感想になりますけれども、ご説明をうかがっていて非常にいろいろなところと連携もされながら、すでに事業を組まれているのだと。例えば、コミュニティ協議会や保健福祉センター、あるいは高校ですとか企業ですとかそういうものもご説明の中から知ることができました。</p> <p>それでは、基本方針から続きまして事業報告、事業計画につきまして、皆様からご質問やご意見等を伺いたしたいと思います。どこからでもけっこうですけれども、どうぞご発言ください。いかがでしょうか。阿部委員、お願いいたします。</p> <p>寄居中学校の阿部でございます。中央公民館の事業の中で、寄居中学校が非常にかかわっている部分があって、中央公民館、学・社・民の融合の7、「防災力アップ講座」出前講座ということでやっていただいています。複数年にわたってやっていただきまして、今年度も7月6日土曜日に半日の日程でさせていただきました。学校だけではとても連携しきれないようなところまで関係機関と繋いでいただいて、学びの多い講座になったと本当に感謝の気持ちでいっぱい、非常にありがたかったです。手前味噌の言い方ですけども、学校と公民館の連携が非常によくできた良い例ではないかと思っています。また、継続をぜひお願いしたいと思っています。</p> <p>質問というか要望もあるのです。例えば、家庭教育振興のところでは各公民館を見ていると、わりと幼年期の親御さん向けの講座が多いかというふうに思っているのですが、思春期向けの講座というのがなかなかいろいろな事情があるのかやりづらいのか、過去やっていたけれどもできなくなってしまったのか分からないのですけれども、非常にやはり悩ましい時期であって、虐待の問題もあったりして思春期の子どもに対してどう対処したらよいのかというところを悩んでいる親御さんがおられるのではないかと。寄居中学校でも、PTAの企画で当校に来てもらっている「スクールカウンセラーを囲む会」というものがあるって、そこに親御さんに来ていただいて、カウンセラーとざっくばらんな話合い、情報交換をしていて、非常に好評です。そんなふうな企画あたりが公民館のほうでどうなのかということも質問でもあり、要望でもあります。それが1点です。</p> <p>それと、もう一つは外国から来ている子どもがいて、日本語が話せないのですが教室に入って授業を受けています。市の教育委員会の支援があって、日本語の指導員の方に週1回とか来ていただいて日本語を教えてもらっている</p>
------	--

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 5 枚目

	<p>のですけれども、すでに今年分の支援の回数が終わってしまいました。例えば、転勤で新潟に来られた大人向けの、新潟の良さを知ってもらいたいみたいな講座があるのですけれども、外国から来た子どもたち向けに新潟のことを理解してもらおうとか、あるいは日本語を理解してもらおうといった企画はいかがなものかというふうに少し思ったりしています。なかなか学校で知ることができないところを公民館でと虫の良いお願いみたいな感じですけども、保護者向けの講座、あるいは外国から来た子どもたちに対する支援みたいなもので何かないかという要望、質問でございました。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。阿部委員から 2 点ございましたけれども、事務局いかがでしょうか。</p>
中央 友坂事業担当	<p>まず、思春期の子どもや保護者対象の講座ということですが、以前、生涯学習センターで全市的に展開していた「子育て学習出前講座」を、昨年度から中央公民館に移管して実施しています。これは、小学校や中学校の就学時健診や、入学説明会などの保護者が集まる機会に、家庭教育や、思春期の子どもに対する親御さんの対処の仕方、スマホへの対応などを学んでもらう機会とするために講師の先生を派遣して講演会をしています。</p> <p>やはり、思春期の保護者の方を集めることが平日の昼間はまず無理、土日でもなかなか集まりにくい、集めにくいということもありまして、正直、講座自体は大変少ないということが現実です。その中で苦慮して、例えば 1 回だけの講演会といった形で開催している館もありますが、本当に家庭教育学級という連続講座で実施するのは難しいです。予算との兼ね合いもありますが、保護者に参加をしてもらうためには、連続講座は難しいと考えています。その代わり、単発の 2 時間程度の講演会という形で開催していければというふうに考えているところです。</p> <p>もう 1 点、外国から来ている子どもに対してというところです。確かに、公民館で日本語の講座や、子どもに対して新潟を知ってもらうという外国人向けの講座というのは少ない現状があります。ただ、幸いクロスパルの中には国際友好会館が入っていますので、外国人の方向けの支援や、日本語講座も開催しています。そことタイアップしながら数を増やしていく対策は可能だと思いますので、検討させていただきたいと思います。よろしく願いいたします</p>
鳥屋野地区 小栗館長	<p>鳥屋野地区公民館でも、思春期については実は平成 29 年度は 3 回の連続講座の中の 1 回を中学校での新中学 1 年生の保護者に対する説明会の前段でやらせていただいたところ、そこの説明会に来られる方が聞くというふうな形をとっ</p>

たら、前の時間から来られる保護者の方がだいぶ多くおられたのですが、平成 30 年度は単発で公民館で実はやったのです。ネットトラブルだとか、あるいは子どもの食生活というふうなものをやったのですが、やはり単発で公民館に来てくださいといっても参加者が 10 人までいかなかったです。ということで、なかなか小さいお子様、幼児のお母さん方を集めることはまだこれから子育てをするのだというところで集まりやすいのかもしれませんが、思春期時期の保護者の方をそれなりに問題意識はあるのでしょうかけれども、それらの人たちを特別集めるというのはなかなか難しいかと。そうすると、そういう学校説明会なりの機会を捉えてやるのがやり方としては一番いいかというふうに思っています。

それから、外国からきている子どもたちに対するというところは、果たしてそれが教育現場でやるものなのか、あるいは公民館でそういった人たちをやるべきものなのか少しそこは、本来的には教育現場でヘルプをしていく部分なのではないかと。例えば、そういった人たちが日本をもっと知りたいというふうな部分があるのであれば、そういう講座を開くということは考えられますが、授業に必要な日本語のスキルを上げるとかいう部分は、少し公民館のやるべき部分なのかどうかというふうな感じがします。先ほど、友坂さんから話がありましたように国際交流協会がありますので、そこでは外国人向けの日本語講座みたいなものもありますので、そういうところとの連携という部分もあっていいのかという。それは公民館を含めた連携になるのかどうかということは、何となく私は教育現場のところ、私の個人的な考え方では教育現場のところではないかというような感じも少ししています。

藤瀬議長

阿部委員、いかがでしょうか。

阿部委員

そうですね、やはり非常に。本当に外国から帰ってきた子ども達は本当にまだまだ少数だと思うのです。本当に学校の中でごく少数派のわけなので、自分の心の中で抱えている悩みとかそういったものを出すような場面が少なかったりして、不登校になってしまうような子達もいるかもしれません。広くそういった子達をつなげるような場面があるといいなという事は思うのです。やはり、学校の中ではどうしても 2 人とか 3 人とか兄弟 2 人とかその辺になるのですけれども、全市的に見ればそういう子達も多いと思うので、そういった子達がつながればいいなという思いです。本当に一番の悩みは日本語、語学だと思うのですけれどもそういった心の面でのつながりみたいなものが、そういうところに公民館のほうで繋がっていくことも一ついいのかというふうに思ったのです。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 7 枚目

<p>鳥屋野地区 小栗館長</p>	<p>分かりました。そこは力があれば。</p>
<p>阿部委員</p>	<p>あれもこれもは難しいと思いますので。学校としてはそんなところになって います。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>2点とも現代的課題の一つかと思いました。1点、今のご質問に関連して質問を させていただきたいのですけれども、子育て出前講座というキーワードが出てまいり ましたが、小中学校の入学式のときでしょうか。説明会でしたでしょうか。</p>
<p>鳥屋野地区 小栗館長</p>	<p>入学説明会、または、就学前健診の。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>そのときに、講師を派遣するという形だというふうにお伺いしましたけれども、 それは、その機会に限るのですか。あるいは、例えばご説明をいただいたように わざわざ思春期を持つ親御さんを集めようとするとなかなか、思いはあっても 日常生活や仕事だなんだとかで結局は集まるのが難しいという実態を踏まえ ますと、中学校が何か行事等おありのときに各学校から手を挙げたときに 派遣しますということが随時可能なような仕組みになっていらっしゃるのか、 それともやはり就学前健診とか入学のときに限るような事業組み立てになっ ていらっしゃるのか、少しそこがお伺いできたらと思いました。</p>
<p>中央 友坂事業担当</p>	<p>子育て出前学習については不特定多数の人、1人でも多くの方が学校の行事 など、就学时健診もそうですし、入学説明会、例えばPTA行事でも可能かと 思います。そういった多くの保護者の方が集まる機会を捉えて、そこに講師を 派遣して、変な言い方をすれば、そんな話を聞かなくてもいいと考える保護者 の方に対しても聞いてもらえるような会場に講師を派遣して話を聞いてもらう というものです。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>それでは、可能だという仕組みについては全小中学校にもう周知がいきわた っているものですか。</p>
<p>中央 友坂事業担当</p>	<p>必ず、年度初めの校長会で周知をさせていただいて、そして、学校側のスケ ジュール等々ありますので、手挙げ方式としています。</p>

藤瀬議長	ありがとうございます。参考になりました。
阿部委員	ちなみに、うちの学校にも来てもらっています。
藤瀬議長	そうですか。ますますのご活用をお願いしたいと思います。ありがとうございます。そのほかにいかがでしょうか。笠原委員、お願いいたします。
笠原委員	関屋地区公民館の説明の中で、子ども達が参加する体験教室なんかがすごく好評で、非常に定員を上回る申込があったというふうにお聞きしまして、PR方法ですとか皆さんにお知らせする方法は主にどういったことをされているのかお聞きしたいと思います。
関屋地区 樋山館長	まずホームページに、そこが大半だと。そこに先ほどもいろいろなチラシがありましたけれども、大体あのくらいの情報のものをホームページに載せる。あとは、そんなに広いエリアに配ってもしようがないので、例えばうちの公民館の界限ですと浜浦、関屋、有明台くらいが三つの小学校ですので、そこをお願いしてチラシを置かせてもらうくらいだと思います。特に、特別よその公民館に比べて特別なことをやっているというわけではないと思います。
笠原委員	何か全体的にお話をお聞きしていて、地域の方の意識が高いのかという印象をすごく受けたのです。連携ができているとか、あと公民館を利用する方の主体性みたいな、山の会の方のお話ですとか、何か地域の方がそこで何か企画とか考えをきちんと持っているというか。新しい人ばかりが来るのではなくて常連の方という方が多いのでしょうか。
関屋地区 樋山館長	そうです。それは、祝委員からお話を聞いたほうがいいのかと。
祝委員	今、館長からお話がありましたように、確かに地域の方の協力が大きいと思います。例えば、「おもしろ関屋学」は関屋の地域の歴史を、現地を案内しながら勉強する訳ですが、一回 40 人定員で年間 5 回実施し、205 人が参加しています。これは企画するリーダーの力が大きいです。また、「初級登山教室」では「ゆきみ山の会」という登山グループに所属する経験豊富なリーダーが数人いて、楽しい登山を実施しています。参加者は「初級登山教室」を経て中級者となり、新人を育成する。一回 20～30 人規模で、年間 105 人が参加しています。「楽し

	<p>くが継続の基本」とリーダーは話しています。</p> <p>関屋は、歴史のある地域であり住民の文化性も高いように思います。上記の「おもしろ関屋学」や登山教室の「ゆきみ山の会」などのリーダーは、公民館事務室にも顔を出し、職員とも親交を深めています。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございました。</p>
笠原委員	<p>今の続きですけれども、子どもの体験教室というか、たくさん定員が過ぎたと言われたのですけれども、どんなものがちなみに人気だったのかと。</p>
関屋地区 樋山館長	<p>ぱっくん貯金箱というものが一番、これから8月8日ですが、それが20人に対して40人を超えています。ちょうど10センチ真四角くらいで、木の具材を講師の方が用意してくださって、それを簡単に組み立てて、そこにちょっとしたコルク剤にデザイン、絵を描いて貼るという小学校低学年向けかと。高学年には少し物足りないだろうというものですけれども、正直そんなに人が集まるとは、応募があるとは思いませんでした。</p>
笠原委員	<p>公民館に来られる方は低学年の方が多いのですか。</p>
関屋地区 樋山館長	<p>そうですね。低学年の方が多いので、だから指導をする側も、さあ困ったという部分があります。高学年なら、多分ほっといてもあつという間に終わって遊び始めるかという。</p>
笠原委員	<p>先ほど、東地区公民館の方がやるものと作るものがやはり違うとできないという。対象者を決めるということが大変だということが、今のお話を聞いてそうなのかと思いました。</p>
関屋地区 樋山館長	<p>今聞くと、夏休み期間中なのでそのまま学校に作品として出せるので、そういうことはよく聞きます。</p>
笠原委員	<p>私も、公民館の事業で昔、小学生相手にやるのが昔あったのですけれども、やはりネーミングが一番、市報に載せるためのためにネーミングを考えることが一番大変で、勝手に出しても、やはりそのネーミングで来たり来なかったりするるので、子どもたちは微妙なネーミングに左右されるのかと思います。大人とはまた違う感覚なのかというふうに感じました。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 10 枚目

藤瀬議長	<p>ありがとうございます。そうですね。どういうふうにPRするかという微妙なキャッチーなネーミングというかその辺も大事なのかもしれませんね。そのほか、ご質問いかがでしょうか。田代委員、お願いします。</p>
田代委員	<p>くだらない意見ですが、いいですか。</p>
藤瀬議長	<p>どうぞ。</p>
田代委員	<p>毎回この運営審議会の資料を、この会議のためだけにとということか分かりませんが、作って出していただいております。本当に細かく書かれてあっていいのですけれども、これは、この審議会のためにわざわざ職員の皆さんが作っているのか。あるいは、審議会があるので説明をするためにそれぞれの公民館から適当な資料になるようなものを持ってきてというふうになっているのか分からないのだけれども、同じような形式で作ってありますね、全館とも。これは私たちは見る側なのですけれども、まとめて作ってもらったらどうかと思うのです。というのは、「1、地域のコミュニティづくり」ってありますよね。これを、中央公民館、その次は関屋地区公民館、その次は鳥屋野地区公民館というふうに、その次は「2、学・社・民～」と同じように。この様式は同じだと思うのですけれども、そうすると説明のときに、「地域のコミュニティづくり」までやりましたとなったらその項目を各館ごとに説明していただくと。その次にまた、「学・社・民～」をやってもらおうというふうにすると同じ説明でもこちらのほうの頭には入りやすいのではないかという気がするのですけれども、ただそのために事務局がいちいちそれを作り直してやるなんてことは大変なので、パソコン作業でやることは簡単だと思うので、そのための手間暇はかからないのではないかと思うのですけれども、この審議会のためにこの資料を作っているのかどうかということをもっとお伺いしたいのです。</p> <p>その次にスライド、そこでやりますよね。私はもう80歳を過ぎていますので目が乏しいのです。今の字の大きさなら見えますけれども、あれより小さい字になると、せつかくスライドに出していただいているのですけれども、何となくぼーっと見ているだけなのですけれども、ぼーと生きてるんじゃないかと言われるかもですが、ちょっとぼーっと生きていられないことなので、もし今日のためにスライドを使うということであれば、見る側の立場に立って、もう少し大きい文字でがぼっと、細かい文字ははいらないので。写真も3枚をまとめて1つの画面に入れるのではなくて、1枚ずつ1画面とすればよく分かるのではないかと。お前それを作れと言われると困るのですけれども、私が作っているときはそういうふうにしていきます。だから、皆さんが自分のパソコンで見て</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 11 枚目

	<p>いる時はいいと思うのですが、スライドにして写すとなったら、見る人はもうはるか遠いところから見ていますから、よっぽど大きいものにしてくれないと見えないのです。だからせっかく作って写すのだから、見る人の立場に立ってやってもらったらいいのではないかと思うのです。というのは、公民館大会を見てもよくやっていますけれども、あれも文字の大きさがいまいちだという感じがするのです。というのは、発表者のための画像作りであって、見る人のためではないのではないかという気がするのですけれども、これは私の老眼のせいかもしれませんけれども、そんなふうに思うのです。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。資料の作り方は公民館ごとではなく、事業ごとに並べたらいかがか、進行もそのとおりがいいのではないかという点が1点と、それからパワーポイントの資料はプロジェクターを使うのであれば、何となくイメージを見るのではなくて、やはりそこに書いてある文言等もしっかり理解したうえで審議をしたいのという積極的な使い方もありますけれども、その2点につきましては今後また事務局のほうでご検討をいただくということによろしいでしょうか。</p> <p>一つご質問もございましたが、この審議会のためにわざわざ作っておられるのですかという点についてはどうでしょうか。</p>
中央 友坂事業担当	<p>審議会のためにだけ作っているものではなくて、事業実施後の評価を行うために作成しているものを多少加工しているものです。</p>
藤瀬議長	<p>では、引き続きまたよりよい資料作りといたしますか、どのように作り変えることが一番委員の皆様の実態を分かっていたいただけるかという点で改良をお願いしたいと思っております。</p>
中央 友坂事業担当	<p>貴重なご意見、どうもありがとうございました。</p>
藤瀬議長	<p>(4) につきましては、ここで振替えさせていただきたいと思います。(5) その他がございますけれども、その他につきまして何か全体を通じて皆さんからご意見やご質問、あるいはその他の事案等お持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>事務局から何か補足は、この時点でございますか。</p>
中央	<p>連絡といたしますか、お礼ですけれども7月19日に新発田市で開催されました</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
12 枚中 12 枚目

竹田補佐	<p>第 70 回新潟県公民館大会ですけれども、田代委員と山田委員と、塩田委員に雨の中ご参加いただきまして、本当にありがとうございました。</p> <p>本日は活発な議論、大変ありがとうございました。以上をもちまして、第 31 期第 1 回中央公民館運営審議会を終了いたします。本日は大変ありがとうございました。</p>
------	--